

短 歌

秋の海ヨット一群れ帆走し  
空と海とが一体と化す

●宮古市 太田屋滋

予報士のオウム返しが今日も又

暖かく湿った空気熱中症

●富谷市 佐藤英克

道糸や竿先グツと引き込まれ

弓なり魚の樂し抵抗

●平塚市 田中博由

山里はどの家も軒先柿ずらり

柿すだれとはまさに宜なり

●長岡市 近藤博

この世とはいつかおさらばする運命

限りある身に限り無き願望

●笛吹市 沢登清一郎

理不尽な濁ったようなシャボン玉

消えて失くなる其れもつまらぬ

●南あわじ市 小川千富

係の言ふながいおさかよ火丁魚

俳 句

若き僧のライダースーツ秋高し

●小山市 原田利江

雲の峰赤城雄姿を拝しけり

●本庄市 入利雄

山が生み野のいつくしむ風さやか

●本庄市 長谷川千鶴子

朝顔やパツと音たて今咲いた

●草加市 長谷部禎子

源流は雲浮くあたり涼新た

●戸田市 篠崎志津子

蝉しぐれ死語になるやら高い空

●朝霞市 林則雄

熱帯魚異常水温元氣無く

●東京都葛飾区 東海洋一

道半ば一歩一歩と半夏生

●武蔵村山市 原野晴光

新涼の雲無き空に星光る

●塩尻市 大家協治

掠め翔ぶ露店の早朝夏つばめ

●塩尻市 奥原光夫

水遊び園児帽子に赤とんぼ

●塩尻市 小野正平

畑仕事響くこおろぎもう日暮れ

●塩尻市 清沢美恵子

湧水のひかりの中へうりひたす

●塩尻市 町田まさ子

くつきりと五山送り火大文字

●長岡京市 宮先一雄

亡き盟友の面影浮かべ新酒酌む

●門真市 藤岡春男

名月を楽しみ散歩まう二周

●明石市 小田慶喜

涼 さわさわ揺れて秋涼し

●伊丹市 磯部芳子